

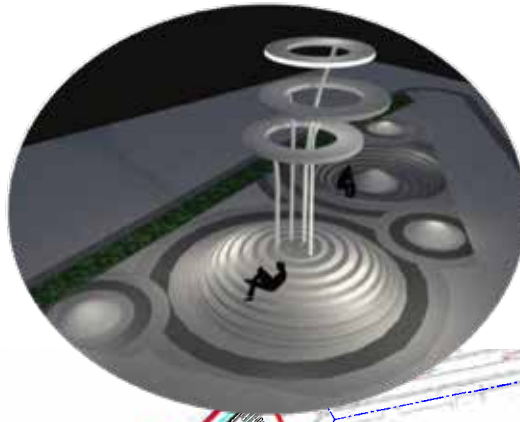
大塚駅北口に必要ですか？ 税金6億円超の照明モニュメント群

中央ロータリー



モニュメントの設置

ホテル星野リゾート向かい

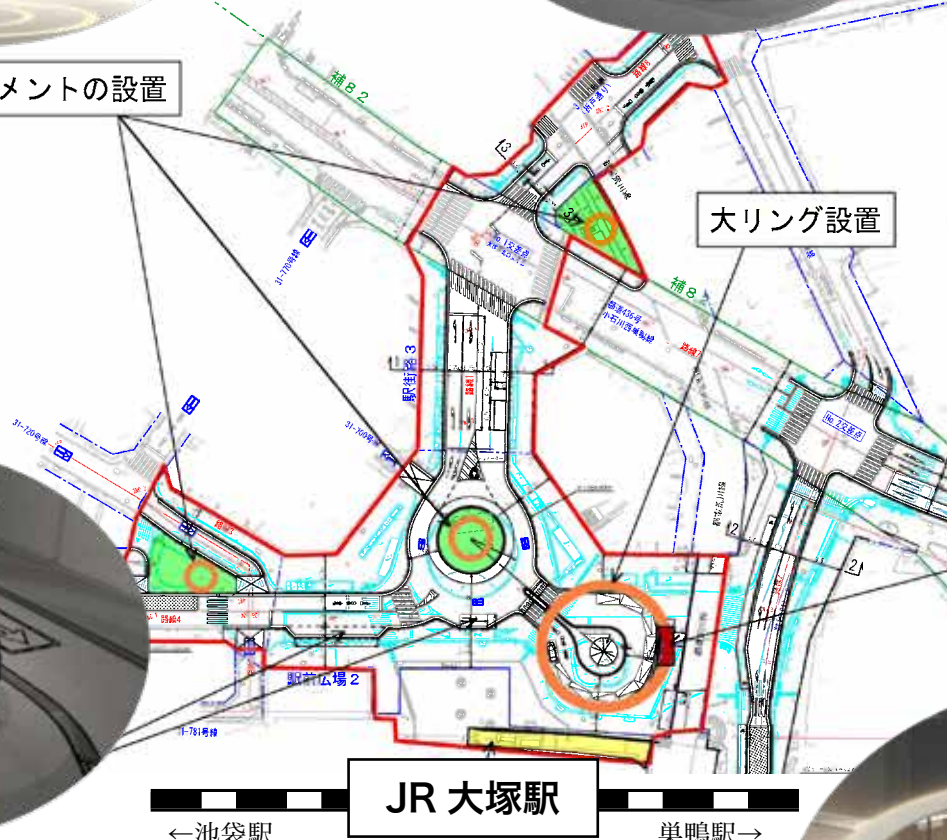


大リング設置

北口商店街の入り口



北口商店街の入り口



7月の区議会で「大塚駅北口整備工事の契約」の議案に、日本共産党を除く全ての議員が賛成しました。

区民から要望が出ていた歩道の拡幅や懸案だった都電までの屋根の設置、トイレと歩道上駐輪場を移設するなど改善項目が盛り込まれていました。

しかし整備費14億円のうち

6億円を超える税金が照明とモニュメントに充てられています。

豊島区は「北口の象徴となるようなモニュメントを設置し、光の演出を行うことで人々が足を運びたいところをまちを実現する」として、2023年3月までに完成させる。ただしモニュメント等は東京五輪前に設置するとして、区長が好転させたと言ってきた区財政は、これらの開発への税金投入により今年度か

タクシープールの大リング



ら借金が貯金を超過し赤字に転落します。

大塚駅北口整備の住民説明会では「なぜそんなに明るくする必要があるのか」「それより緑あふれる駅前にしてほしい」「無駄遣い」など多くの反対意見が出ました。大リングの柱の数々は高齢者や障がい者等の通行の妨げになり、老朽化した時の倒壊が心配です。

こうした区民不在のまちづくりは将来に禍根を残します。一時的な賑わいのために多額の税金を投入するのは間違いだと思います。

10月からの消費税増税、東京五輪後の経済低迷への危惧が懸念されます。区民の真の願いは福祉くらしの増進です。税金の集め方、使い方を考えれば必ず実現できます。

東池袋2丁目38-10 区立フレイル対策センター (介護予防センター)

「いーとこ」ご存知ですか？



区民ひろば朋有に併設していた東池袋豊寿園が閉鎖され、そこに区内2か所目の介護予防センター「いーとこ」が5月開設しました。

フレイルとは、健康から要介護に移行する中間の段階と言われており、筋力の低下で疲れやすくなるなどの衰え全般的なことです。早めに対応することで健康回復できるとされています。

健康寿命を延ばすためには栄養、運動、社会参加が重要とされています。この施設では体操、転倒予防、認知症対策、看護師などによる相談、有料のカフェ、おとな食堂などを行なっています。

一度、覗いてみてはいかがでしょうか。

くらし何でも相談

お困りごとは、一人だけで、あるいは家族だけで悩まずに、何でもお気軽にご相談ください。

各分野の専門家、労働組合、弁護士等と連携して問題解決に向けてサポートいたします。

ご連絡お待ちしております。